

金沢衛生管理者研究会

令和6年度優良事業場実地見学及び安全衛生活動報告会記録

JR 西日本新幹線白山総合車両所見学

6月10日（月）



令和6年6月10日（月）午後2時から午後3時30分までJR西日本白山総合車両所（白山市宮保町2791番地）にて優良事業場実地見学をさせていただき、(株)JR西日本新幹線テクノス白山事業部の安全衛生活動の報告をお聞きしました。参加者は31名でした。



見学次第

JR 西日本白山総合車両所長挨拶	JR 西日本白山総合車両所長	5分間
JR 西日本白山総合車両所 概況 (動画) 紹介	株式会社 JR 西日本白山総合車両所	15分間
JR 西日本新幹線テクノス白山事業部 会社紹介、安全衛生の取り組み紹介	JR 西日本新幹線テクノス白山事業部	20分間
実地見学（2班に分けて実施）	場内作業場	60分間
安全・衛生の取り組み、 衛生・健康管理の質疑応答 金沢衛生管理者研究会 総括	参加者 代表幹事	15分間



株式会社 JR 西日本新幹線テクノス白山事業部の事業概要の説明



白山事業部概要

JR西日本グループの一員として山陽新幹線とともに歩み続けてきた JR 西日本新幹線テクノス。世界に誇る技術力と現場力で、高速鉄道の「安全」と「発展」を全力で支えています。

白山事業部には、車両事業、エンジニアリング事業、設備事業の3事業部門があります。



主な工事：交番検査 2014(平成26)年7月開始 月：敦賀開業後は15編成施工

主な工事：台車検査 W1 編成 2015(平成27)年4月 開始

主な工事：全般検査開始

主な工事：雪落とし作業 2015(平成27)年3月開始

作業箇所：糸魚川駅、金沢駅、白山総合車両所 ※敦賀開業後は敦賀駅も予定

安全衛生の取組み

基本方針

- 社員の考勤へのサポート
 - 作業環境管理（現地・現物確認）
 - 熱中症予防、社員の健康管理
- 幹テクバイブル、小集団活動、作業手順書作成 など
作業実態審査

社員の声（現場のリスク情報の収集（管理者は現場へ））

水分・塩分補給、熱中症防止対策品の導入

セルフケア・ラインケア研修（社員の心の健康保持）

健康推進に関する取組み

(株)JR西日本新幹線テクノス
白山事業部

安全衛生の取組み 基本方針

- **社員の考勤へのサポート**
幹テクバイブル、小集団活動、作業手順書作成 など
- **作業環境管理（現地・現物確認）**
作業実態審査
社員の声（現場のリスク情報の収集（管理者は現場へ））
- **熱中症予防、社員の健康管理**
水分・塩分補給、熱中症防止対策品の導入
セルフケア・ラインケア研修（社員の心の健康保持）
健康推進に関する取組み



幹テクバイブル

過去に発生させた失敗事象は二度と繰り返さないために、事象の概況や、背後要因、対策を簡潔にまとめ各社員に配布、ファイルに綴り、教育に活用しています。



幹テク白山バイブル	
項目	内容
1	発生事象の概要
2	背後要因
3	対策
4	教育
5	その他

幹テクバイブル

過去に発生させた失敗事象は二度と繰り返さないために、事象の概況や、背後要因、対策を簡潔にまとめ各社員に配布、ファイルに綴り、教育に活用しています。

小集団活動（改善活動）

各課チームに分かれて、それぞれの役割（リーダー、サブリーダー、書記、発表者、実施者）の中で一つのテーマを決め、課題解決に向けてチーム全員で取り組み、報告会にて管理者が立ち合いのもと、成果を発表し社員相互のスキルアップを目指し、取り組んでいます。

- 上期 9チーム、9テーマ活動期間 2023年6月～8月
- 下期 9チーム、9テーマ活動期間 2023年12月～2024年2月

小集団活動（改善活動）

各課チームに分かれて、それぞれの役割（リーダー、サブリーダー、書記、発表者、実施者）の中で一つのテーマを決め、課題解決に向けてチーム全員で取り組み、報告会にて管理者が立ち合いのもと、成果を発表し社員相互のスキルアップを目指し、取り組んでいます。

- 上期 9チーム、9テーマ 活動期間 2023年6月～8月
- 下期 9チーム、9テーマ 活動期間 2023年12月～2024年2月

プロアモータ用工具の形跡管理



作業実態審査

毎月各作業を、管理者及び他作業実務者で作業マニュアルに沿って実作業を審査し、保護具、作業用工具、設備等の作業環境も確認しています。審査後、確認者の意見をシートにまとめ、課題や対策等を検討しています。



改善機番	審査会の主な指摘内容と対応
輪ハネ	ハンマーのグリップ部分がボロボロ⇒取替
Pan補装	天井クレーンのペンダントが床に直置きのため、踏んでしまう⇒ペンダント置場製作中
Pan補装	転落防止用マットが1箇所寸法が合っており、隙間がある⇒塩ビ配管で製作
キャリハ組立	タガネが捲れていた⇒メンテナンス実施
ε277タンバ組立	延長コードが乱雑に置かれ使用されている⇒OAタップを使用しまとめた
ε277タンバ組立	油吸着マットが捲れていた、マットがないところが滑りやすい⇒マット敷設箇所拡大

作業実態審査

毎月各作業を、管理者及び他作業実務者で作業マニュアルに沿って実作業を審査し、保護具、作業用工具、設備等の作業環境も確認しています。審査後、確認者の意見をシートにまとめ、課題や対策等を検討しています。

社員の声（一例）

車両の床下での検修作業の多くは中腰やしゃがんだ状態での作業になります。身体への負担が大きいため、作業に合わせて各椅子を使用し対応しています。

キャスターを増設した椅子
仮台車用椅子(キャスター無)

社員の声（一例）

車両の床下での検修作業の多くは中腰やしゃがんだ状態での作業になります。身体への負担が大きいため、作業に合わせて各椅子を使用し対応しています。



ウォーターサーバー、塩タブレット配置図
 検修場内の各箇所水分補給及び塩分補給のためのウォーターサーバー（JR18箇所、新幹線テクノス12箇所）と塩タブレットを所内社員がすぐに補給できるように、各作業箇所毎に配置しております。

ウォーターサーバー、塩タブレット配置図

検修場内の各箇所水分補給及び塩分補給のためのウォーターサーバー（JR18箇所、新幹線テクノス12箇所）と塩タブレットを所内社員がすぐに補給できるように、各作業箇所毎に配置しております。



場内配置図

クールミストの導入（2024年導入予定）

クールミストの利点

- ・設置箇所の自在性
- ・コンセント不使用
- ・水を使用するため体感温度の低減効果向上



セルフケア・ラインケア研修

メンタルヘルス不調の未然防止並びに心の健康を保持するためにセルフケア研修（全社員対象）を行っています。管理職に対してはラインケア研修を行い、部下等からの相談対応など必要な知識を身に付けることを目的に行い、活気ある職場づくりを目指し取り組んでいます。

○ セルフケア研修

〈内容〉動画視聴研修、または臨床心理士による講座研修…全社員に対して年1回受講

○ ラインケア研修

〈内容〉動画視聴研修、または臨床心理士による講座研修…管理職社員に対して年1回受講

【動画視聴研修】

【専門講師による集合研修】

○健康推進に関する取組み

定期健康診断を年1回、特殊健康診断を年2回を実施しており、満35歳以上の社員については一般検診（付加検診/乳がん検診/子宮頸がん検診含む）の受診を奨励しています。

○ 健康診断

35歳以上を対象に人間ドックの受診にかかった費用を補助の上限50,000円（個人負担は5,000円）まで会社が補助をする制度を設けています。

○ 人間ドック補助制度

○ ストレスチェック

社員のストレスの程度を把握し、自身のストレスへの気づきを促すとともに各職場ごとの集団ストレス判定を行い管理者と共に働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

JR 西日本白山総合車両所見学会感想

○A社

旅行の記憶、顔に当たる風。音。とてもワクワクと楽しい時間でした。この私たちの楽しみの裏には、従業員の皆さまのたくさんの工夫や苦勞があったことを知り時間通りに来る電車で感謝でいっぱいです。

- 見学前に拝見したDVDの中には「気持ちで取り組む」「お客様のため」「後輩を育てる」「笑顔を絶やさず」「チームワーク」など関係性の質を重視した風土づくりを大切にしていることがわかる多くの言葉が耳に残りました。
- こうしたエンゲージメントの高い風土づくりのカギとなる従業員教育についても知りたいと思いました。

○B社

白山車両基地での新幹線の整備を見学するという貴重な経験が出来ました。

- 特に工場内での熱中症対策での取り組みは、非常に参考になりました。当社でも塩飴、ウォーターサーバーを含む飲料の備え付けを工事現場で行っていますが熱中症対策として間違っていない事の再確認が出来ました。
- また、チーム毎でのKY活動や問題点の把握を行い、同じミスを二度と繰り返さない事を徹底する活動は非常に参考になりました。今後の当社での安全衛生の活動の参考にしたいと思います。

○C社

前々から、この車両所で何をしているか気になっていたのを見学できてとてもよかったです。また、新幹線も触れるぐらい（触っていませんが）近くで見ることができて感激しました。

- 広い車両所ですが、整理整頓されていて流石でした
- パレットの積み上げ高さの上限が「移動式の表示」で示されているところは弊社でも取り入れたいと思いました。

○D社

スピーディー、安全、時間通りに運んでくれる新幹線を普段、何気なく乗っていますが、その裏側ではたくさんの方が点検や修理、清掃を行っているから成り立っていることを肌で感じました。感謝しかありません。心残りはもう少し、安全衛生や改善活動に関するお話を伺いたかったです。

○E社

停止している新幹線を真正面・真横からの姿は圧巻でした。

- 安全に対する意識が非常に高いことが、説明及び実地見学させて頂きよく理解できました。
- 例えば、見える化によって誰もが分かり易くしている。(表示が各所に成されていました)

- 5Sの取組みが参考になることが多かったです。特に整理整頓がすばらしく、工具が区分して整理されていて、使用者管理がされていたことが驚きました。弊社でも実践したいと思いました。

○F社

世界に誇る新幹線の安全・安心のための取組みというものを少しだけ垣間見ることができ、大変良かったです。

- 車両本体だけでなく、台車と切り離して隅々まで確認していることを知り、また、台車自体も近くで見ることができましたので、大変感動しました。
- 車両所の皆様が新幹線に乗車する際は、一般の方とは異なる目線で見たりするものなのでしょうか？少しだけ気になりました。

○G社

今回は、取り外した台車等の検査を中心に見させて頂きましたが、初めてみるもので一つ一つ分解され点検、整備されていることが分かりました。

- 非常に少ない人数で作業されていることにびっくりしました。
 - また、工場内はきれいに整理整頓されており、そういったところにも留意されているように感じました。
- そのことが新幹線の安心安全につながっているものと思います。

○H社

風雪雷雨苛烈な状況で走る車両は、思ったより早くさび付いていてびっくりしました。なのに、床面に汚れはなく、錆びついた部品が検査後はきれいな部品に変身しておりました。

- この車両の錆びや塵埃で作業場はもっと汚れていると思っていましたが、大変綺麗で、片付いた作業場でした。